

講師

永原 真奈見

■ 学歴

1. 福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科博士後期課程 人間環境科学専攻 修了

■ 学位

1. 博士（人間環境科学）

■ 研究分野

1. 栄養教育学
2. 実践栄養学

■ 研究キーワード

1. 食育
2. 食事調査・食事診断
3. 料理区分
4. 特定保健指導

■ 研究課題

1. 主食・主菜・副菜等の料理区分を活用した食事評価
2. 女子大学生における朝食摂取状況、運動習慣、身体あるいは精神上的の自覚症状に関する検証
3. 福岡県内のある市における食育に関する調査結果の検証
4. 特定保健指導における減量目標及び長期的指導効果の検証

■ 担当授業科目

1. 栄養教育論Ⅰ（2年後期）
2. 栄養教育論Ⅱ（3年前期）
3. 栄養教育基礎（1年後期）
4. 栄養カウンセリング論（3年後期）
5. 栄養教育論実習Ⅰ（3年前期）
6. 地域栄養活動論（3年後期）
7. 管理栄養士演習Ⅱ（栄養教育論）（4年前期・後期）
8. 臨地実習Ⅲ（3年後期、4年前期）
9. 初年次セミナーⅠ（1年前期）
10. 実践活動（（3年後期、4年前期））

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	授業科目名【栄養教育論Ⅰ】 管理栄養士国家試験の出題基準における「栄養教育論」分野は、年々、問題の難易度が上がっている傾向にある。毎回の講義は、教科書に加えて、パワーポイントによるスライド（ムービー等も利用）とプリント資料（書き込み欄付）を作成・配布し、学生の理解度が深まる工夫を行っている。また毎回、前回の講義内容の復習小テストを実施し、学生の理解度を把握しながら講義を進めている。2年生で履修する科目であるが、国家試験において出題頻度が高い用語についてはその旨を強調し、時には過去問を示して解説を行うことで、国家試験対策にも通じるよう工夫している。
2.	授業科目名【栄養教育論Ⅱ】 栄養教育論Ⅰで学んだ理論を基に、各ライフステージやライフサイクルに応じた栄養教育の特徴や課題、国や自治体における健康づくりの制度及び施策について解説している。栄養教育論ⅡにおいてもⅠと同様に、毎回、前回の講義内容の復習小テストを実施し、学生の理解度を把握しながら講義を進めている。また、講義の中で各ライフステージにおける実践活動の実際を紹介することで、学生がイメージしやすいように工夫している。
3.	授業科目名【栄養カウンセリング論】 栄養教育論Ⅰ・Ⅱの講義で学んだ基本的なカウンセリング技法を用いて、行動科学の理論に基づいたカウンセリングを行う実践的スキルについて解説している。様々な課題やライフステージ別の事例を用いた演習を取り入れることで、行動科学理論への理解が深まるよう工夫している。
4.	授業科目名【栄養教育基礎】 本科目は、1年次を対象に、健康増進や疾病予防を目的とした栄養教育手法を学ぶ上で基本となる概念の解説、及び管理栄養士に必要とされる知識・技能・態度の養成を目指して、2023年度より新設した科目である。2年次以降に始まる専門科目の履修につなげられるよう、動機づけや意識づけに重きをおいている。
5.	授業科目名【栄養教育論実習Ⅰ】 栄養教育論Ⅰ・Ⅱの講義で学んだ知識・理論を基に、個人及び集団におけるカウンセリングや栄養教育を実際に体験し、計画・実施・評価・改善を通して栄養教育マネジメントスキルを習得することを目標としている。健康や食生活に関する情報収集、優先課題の特定、学習計画の立案、実施、評価、改善までのPDCAサイクルの作業を体験的に学ぶことで、実践につなげられるよう工夫している。
6.	授業科目名【地域栄養活動論】 地域のあらゆる場面で活躍する管理栄養士の業務内容について、実際の手法をもとに解説を行い、管理栄養士の役割について解説している。また、地域栄養活動実践の概要と行政組織、地域における公衆栄養活動プログラム立案の手法等についても理解が深まるよう工夫している。
7.	授業科目名【管理栄養士演習Ⅱ（栄養教育論担当）】 「栄養教育論」分野を担当している。国家試験対策の模擬試験受験後に配布される解答・解説書は、解説が簡素であることが多いため、「栄養教育論」分野に苦手意識をもつ学生も多い。出題された問題の各選択肢について、解答のみにとどまらず、その範囲で系統化して習得しておくべき基礎知識も併せて解説している。
8.	授業科目名【臨地実習Ⅲ】 臨地実習Ⅲでは、保健所へ実習に行く学生の指導を行う。実習期間中に実施される実習課題や研究

	授業内容を事前に確認し、より円滑に実施できるよう指導している。臨地実習の巡回時には、実習中の学生への助言及び学生の研究授業の講評を行っている。実習報告会では、各施設での実習内容について講評を行い、教員としての立場から実習の効果が最大限に得られるよう努めている。
9.	<p>授業科目名【初年次セミナーⅠ】</p> <p>学生自らが目的をもって主体的に学ぶための着想力、論理性、表現力、独創性などの力を養成するため、1年生を対象に、スタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化を図ることを目的とした科目である。その中でも、ノート・テイキングやリーディングに関する講義を担当し、例題を使って実際に体験させながら習得させることで、講義の中で定着を図るよう工夫している。またグループディスカッションを行う講義も担当しており、学生の発想を大切にしながら、自由に意見交換ができる場の提供を心がけている。</p>
10.	<p>授業科目名【実践活動】</p> <p>栄養教育に関連した文献を探求し、内容を適切にまとめ、紹介するスキルの習得を目指している。また、高校生や成人を対象とした栄養教育の実践を通して、栄養教育手法を身に付け、社会人として働く上でのより実践的な知識とスキルの習得ができるよう心がけている。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2001年4月～現在に至る	日本栄養士会	
2.	2018年4月～現在に至る	日本食育学会	編集委員
3.	2019年9月～現在に至る (2001年4月～2016年2月まで所属)	日本栄養改善学会	
4.	2022年4月～現在に至る	日本健康教育学会	

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は発表の年月	著書、学術論文等の名称	単著 共著	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)					
1.					
(学術論文)					
1.	2023年 10月	小中高校生における一人で料理を作れるか否かの認識の違いによる食生活習慣及び食育への意識の差異の検証	共著	日本食育学会誌 17, 199-207	福岡県内のある市における小中高生の食育に関する調査結果を二次利用した。小中高の学年進行に伴って、毎日の朝食摂取、共食、適切な就寝時刻、食事の挨拶、よく噛む等の望ましい食生活習慣を有する者の割合が減少する実態が明らかとなった。また、一人で料理が作れるという肯定的な認識は、食事の楽しさ、食事の挨拶、よく

					嚙む、生産者との交流体験、伝統・郷土料理や食育への興味関心等の全ての項目において、好ましい影響を及ぼす可能性が示唆された。
2.	2024年 3月	商船三井テクノトレード MOTENA-Sea 親子ふれあい企画	共著	西南女学院大学 地域活動論叢 2023年度 12-14	小学生15名及び幼児12名とその保護者を対象に、遊びながら北九州市で獲れる魚や魚を使った料理、バランスのよい食べ方について学べる食育を提供した。対象の子ども達から食育媒体と実生活を結び付けて考える発言が得られ、魚食を促す一助となった。
(翻訳)					
1.					
(学会発表)					
1.	2023年 9月	女子大学生における朝食摂取状況の違いによる運動習慣や身体あるいは精神上的の自覚症状の検証	共著	第70回 日本栄養改善学会 (開催：名古屋)	女子大学生の朝食バランスや小学生からの朝食摂取習慣の違いによる、運動習慣、身体あるいは精神上的の自覚症状の違いについて検証し、朝食摂取が心身に与える影響を明らかにすることを目的とした。朝食のバランスは生活活動や運動の頻度、睡眠導入、小学生からの朝食摂取習慣は朝食バランス、睡眠導入、イライラ感に影響を及ぼす可能性が示唆された。
2.	2024年 3月	商船三井テクノトレード MOTENA-Sea 親子ふれあい企画	共著	地域貢献活動 交流会 (開催：西南女学院大学)	商船三井テクノトレード株式会社及び株式会社 MOTENA-Sea との先進船舶活用企画「MOTENA-Sea プロジェクト」の一環として、学童及びその家族を対象に、船上でできる遊びをイメージしつつ、保育科と共同でプレイベントを大学内にて開催した。栄養学科は、遊びながら北九州市で獲れる魚や魚を使った料理、バランスのよい食べ方について学べる『食育』を担当した。

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者	交付決定額

			○代表者（ ）内は学外者	(単位：円)
1.	若い世代の食育推進事業	北九州市	○坂田 郁子 永原 真奈見	69,916 円
2.	商船三井テクノトレード MOTENA・Sea 親子ふれあい企画	西南女学院大学	○永原 真奈見 細井 菜穂子	50,000 円

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2023 年 6 月 13 日	高校生における模擬講義	講義「朝ごはんを制する者は 人生を制する!!!」 対象:山口県立小野田高等学校 3年生
2.	2023 年 7 月 15 日	サッカークラブチーム SANXTUS 中学生及び保護者講習会	講習「食事を制する者は人生を制す」 対象:中学1・2年生30名と保護者20名
3.	2023 年 7 月 23 日	みらいつなぐ北九州 60th イベント	Bonjour 株式会社主催の工作イベント において子育て中の母親を対象に料理 区分を用いた食事診断の実施
4.	2023 年 9 月 20 日	食育イベント 2023 (主催:北九州市、教育委員会) (協力:日本高血圧学会)	料理区分を用いた食事診断
5.	2023 年 10 月 31 日	高校生における課題研究授業	講義「この日本から朝食欠食を なくそうプロジェクト!」 対象:山口県立小野田高等学校3年生

■ 学内における活動等 (役職、委員、学生支援など)

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2023 年 4 月～現在に至る	学生委員	
2.	2022 年 4 月～2024 年 3 月	学習支援委員	
3.	2021 年 4 月～2023 年 3 月	教職課程委員	